

第6学年 国語科学習指導案

日時：令和6年5月29日（水）5校時
児童：6年1組 17名
授業者：教諭 澁谷 吏樹丸

【単元名・題材名】

「笑うから楽しい／時計の時間と心の時間」

1 単元の目標

- (1) 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。知(2)ア
(2) 文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。思(1)ア
(3) 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
知(1)オ

2 言語活動

主張を述べた文章を読み、自分の考えを伝え合う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ②原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	①進んで事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。

4 本時の目標

事例をくわしく読み、筆者が複数の事例をあげた意図を考えよう。

5 本時の展開（4時間目/全7時間）

学 習 活 動	教師の主な支援と留意点（◇評価する児童の姿）
1. 前時の確認（2分）	<p>○ 前時に文章全体の構成を確認したことを想起させる。</p> <p>○ 筆者の主張を確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><筆者の主張></p> <p>私たちに必要なのは、「心の時間」を頭に入れて、「時計の時間」を道具として使うという「時間」と向き合うちえなのです。</p> </div> <p>○ 筆者が挙げた事例について確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><事例></p> <p>① そのときの行動に対する感じ方によって、進み方が変わる。</p> <p>② 一日の時間帯によって、進み方が変わる。</p> <p>③ 身の回りの環境によって、進み方が変わる。</p> <p>④ 「心の時間」は人によって、感覚が異なる。</p> </div> <p>○ なぜ、筆者がこれだけの事例を挙げて自分の考えを主張しようとしているのかを考えさせる。</p>
2. 課題（3分）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて： 主張と事例の関係に注目して、筆者が複数の事例をあげた意図を考えよう。</p> </div>
3. 見通し（1分）	○ ①「複数の事例を挙げた理由」と、②「説明する順序」に注目させる。
4. 自力解決（6分）	<p>○ 自分の考えを30字以内にノートにまとめさせる。</p> <p><例></p> <p>「事例を入れて説明した方が、主張に説得力が出るから。」(25字)</p> <p>「読む人がわかりやすいように事例を入れて説明している。」(26字)</p> <p>「事例がたくさんあった方が、読む人が理解しやすいから。」(26字)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇A 主張と事例の関係に注目して、筆者が複数の事例をあげた意図を制限時数内でまとめることができる。</p> <p>◇B 主張と事例の関係に注目して、筆者が複数の事例をあげた意図についてノートに考えを書くことができる。</p> <p>◇C 自分の考えを書こうとしているが、主張と事例の関係に着目できていない。または自分の考えを書くことができない。</p> </div>
5. 学び合い（8分）	<p>・ P 62 下段の「話し合いの例」を参考にさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇B・Cの児童への手立て</p> <p>B評価の児童には、「筆者がどのようなことを伝えようとしているか」を考えさせる。</p> <p>C評価の児童には、「もし事例がなかったらどのように伝わるか」ということや主張や事例の内容について改めて考えさせる。</p> </div>

6. まとめ

まとめ：筆者は自分の主張をわかりやすく伝えるために、複数の事例をあげて説明することで説得力をもたせている。

7. 振り返り

7 授業の意図

- 本授業は、筆者の「主張」と「事例」との関係について読み深め、事例を挙げた筆者の意図について考えさせることをねらいとしている。
- 練習教材である「笑うから楽しい」の読み取りを踏まえて本教材の学習に入っているので、文章構成を確認させたうえで、筆者の主張と事例との関係を捉えさせたい。
- ラーニング・マウンテンを活用し、単元全体のゴールを目指して、段階的に指導していくことで指導目標を達成させたい。
- 協働的な学びとなるように、児童同士の対話を大切にして考えを深めさせ、他の考えにも気付かせたい。